

事業名	中学校スクールランチ			局名	教育委員会	評価年度	23
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び市民判定員の主な意見	廃止	2	バランスのとれた完全給食に		
			見直し	9	経費削減／メニューの改善／利用率の向上		
			継続	6	経費削減の努力は必要		
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】 利用率を60%に上げて一食単価を下げるとともに、仕様書の見直しをして、経費の削減に努める。 これに向けて、教育関係者、有識者、PTAからなる業者選定会議等で方法を協議し、次回、平成26年度に予定されている調理委託契約の更新に向けて、平成25年度に仕様書に反映し、入札を実施する。 利用率向上に向けて、アンケート対象者を拡大し、試食会を実施するなどして、より多くの意見を聴取してスクールランチの改善に活用する。						
取組内容	より多種多様な食材を使用した献立の提供やデザートの実施を図るとともに、たよりや試食会を活用して生徒や保護者等に対しスクールランチのPRを行うことで利用率の向上を目指す。 また、アンケートを引き続き実施し、改善点については改善に努める。						
見直し額 (一般財源)	△1,089(△1,089)						

事業名	学校体育センター	局名	教育委員会	評価年度	25
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び市民判定員の主な意見	廃止・撤退 5 廃止5 民営化 1 民営化1 見直し 22 市の関与の縮小3 料金の引き上げ19 継続 3 経費の節減2 収入の増加1		
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】 収支状況の改善目標を25年度中に設定し、使用料収入の増加や経費節減により改善目標の達成をめざす。 利用者について拡大する余地があることから、有料利用者の拡大等により使用料収入額を増額するとともに、管理体制等の見直しにより、委託経費を削減しつつ、収支の状況を確認しながら、使用料のあり方について検討する。				
取組内容	令和2年度は、有料利用者の利便性を高め、使用料収入を増加させるために、利用受付期間や使用料区分の拡充を行った。令和3年度以降については、引き続き、施設の有効活用の促進を図るとともに、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」を踏まえた当該施設の今後のあり方についても検討を進める。				
見直し額 (一般財源)	△－(△1,202)				